

地方×起業 支援プログラム2期生の修了発表&受講体験 「ローカルベンチャーラボ デモデイ」

～ローカルベンチャーに本気で挑む 56名の挑戦から、ラボを解き明かす～
12月16日（日）13時より八丁堀にて開催

ローカルベンチャー推進協議会*₁（事務局：NPO法人ETIC.（エティック） *₂）は、12月16日（日）に「ローカルベンチャーラボ*₃デモデイ」を開催します。

地方といえば、都市と比べて高齢化や過疎化など深刻な課題を抱えているというネガティブな印象があり、都市から地方へ拠点を移すことは「都落ち」とも言われてきました。しかし、IoTの発達や、生き方や働き方の多様性という価値観の変化が見られる昨今、地方ならではの未活用資源を活かした新規ビジネスに挑戦する人が増えています。

北海道から九州までの11自治体が連携して起業家型人材の発掘・育成を行うローカルベンチャー推進協議会と、社会起業家の輩出・育成を行うNPO法人ETIC.は、ローカルベンチャーラボというプログラムを通じて、地方での新規ビジネス創出を支援しています。昨年度1期生は47名、今年度2期生は56名が、このプログラムを通じて自身のビジネスのアイデアを半年間にわたり実験・実践してきました。

当日は、半年間の集大成として、各テーマの代表者がプランを発表します。また彼らを支えてきた伴走支援者が一堂に会し、半年間を振り返ります。

受講生の様々なビジネスプランや、彼らを支援する地方自治体職員や中間支援組織、先輩起業家らの話からは、「挑戦のフィールドとしての地方」という、これまでの地方の印象とは違う、明るい兆しを感じていただけることと思います。

日曜日の開催で大変恐縮ですが、報道機関の皆さまにはぜひご来場いただき、地域資源を活用したビジネスを実践する受講生の取り組みや、その支援を行う地方自治体や中間支援組織の声を取材ください。

ご参加の場合は12月14日（金）18時までに、メール・お電話にてご連絡いただきますよう、よろしく願いいたします。

*₁ ローカルベンチャー推進協議会とは

全国11市町村が連携し、地方創生の核となる「地方での起業・新規事業（ローカルベンチャー）」を創出するためのプラットフォームとして、2016年秋に誕生。国の地方創生推進交付金の対象事業として、2020年度までの5年間で新規起業・事業創出の件数176件、新規起業・事業創出による売上増約60.1億円、起業型・経営型人材の地方へのマッチング366人を目指す。メンバー自治体は、岡山県西粟倉村（代表幹事）、岩手県釜石市（副代表幹事）、北海道下川町、同厚真町、宮城県気仙沼市、同石巻市、石川県七尾市、島根県雲南市、徳島県上勝町、熊本県南小国町、宮崎県日南市。

<https://initiative.localventures.jp/>

*₂ NPO法人ETIC. (エティック) とは

25年間、自ら社会に働きかけ、仕事を生み出す起業家型リーダーの育成に取り組み、800名以上の社会起業家を輩出・支援。人口減少、経済縮小、超高齢化社会における都市と地方の関係や、日本や世界の未来を考え、実践し、支え合い、学びを共有し、また次の未来を描く、未来をつくる人たちのコミュニティをつくっています。

<https://www.etic.or.jp/>

*₃ローカルベンチャーラボとは

自分のアイデアや取り組みたいテーマで、地域資源を活用した成長ビジネスをつくりだすマインドとスキルを身に着ける学びの場であり、その挑戦に飛び込むための実践の場。今期は8テーマ（観光交流ビジネス、エリアブランディング&マネジメント、資源循環型ビジネス、地域商社、自然資本ベンチャー、安心豊かな暮らし創造、お金の流れデザイン、拡張家族）で開講。受講生は各テーマラボに分かれ、フィールドワークやメンバーとの対話を通して事業プランを作ります。またメンターやファシリテーターには各テーマ領域で活躍する先輩起業家を迎え、少数精鋭のゼミ形式で事業プランをブラッシュアップし、地域で事業が走り出すまでをサポートします。

<https://localventures.jp/>

■当日参加者

- ・中島 淳 氏（株式会社カルチャーアットフォーシーズンズ 代表取締役 /「観光交流ビジネス」ファシリテーター）
- ・寺井 元一 氏（株式会社まちづくりエイトイブ代表取締役、アソシエーションデザインディレクター/「エリアブランディング&マネジメント」ファシリテーター）
- ・麻生 翼 氏（NPO 法人森の生活 代表理事 /「資源循環型ビジネス」ファシリテーター）
- ・小松 志大 氏（宮城県気仙沼市役所 産業再生戦略課 /「地域商社」ファシリテーター）
- ・花屋 雅貴 氏（株式会社エーゼロ厚真 取締役 /「自然資本ベンチャー」ファシリテーター）
- ・鮎島 一匡 氏（合同会社 Amahoro 代表社員 /「安心豊かな暮らし創造」ファシリテーター）
- ・石井 重成 氏（岩手県釜石市オープンシティ推進室 室長、一般社団法人地域・人材共創機構 代表理事 /「お金の流れデザイン」ファシリテーター）
- ・近藤ナオ 氏（デザインコンサルタント、株式会社アソボット取締役 /「拡張家族」ファシリテーター）
- ・ローカルベンチャー推進協議会自治体職員、中間支援組織職員
- ・ローカルベンチャーラボ 2 期生 ほか

※登壇者・参加者は変更になる可能性があります。

■ 開催概要「ローカルベンチャーデモデイ～ローカルベンチャーに本気で挑む 56 名の挑戦から、ラボを解き明かす～」

【日時】 2018年12月16日（日）13:00～19:00（開場 12:30）

【会場】 東京ユビキタス協創広場 CANVAS（株式会社内田洋行 新川本社）

【内容】 13:00-13:30 オープニングセッション

13:30-15:00 ローカルベンチャーラボ生代表の事業プラン発表・講評

2期生 56名から選ばれた代表が半年間で磨き上げたプランの発表と、彼らに伴走してきたメンターやファシリテーターの観点からの講評。

15:10-17:00 ローカルベンチャーラボ体験ワーク

ローカルベンチャーラボで生まれた事業プランを起点にしたブレインストーミングや事業プラン作り体験。

17:10-17:50 トークセッション“ローカルベンチャーラボの世界観”

創業支援の枠にとらわれないローカルベンチャーラボの世界観を、各セクターの関係者とともにご紹介。

17:50-18:00 クロージングセッション

【主催】 ローカルベンチャー推進協議会、NPO 法人 ETIC.（エティック）

【web】 <https://localventures.jp/demoday/>

●取材可能なこと

- 1) 地方の資源を活用した様々なビジネスプランを半年間磨き上げてきた起業家や起業予定者
- 2) 起業家支援を行う地方自治体職員や中間支援組織や先輩起業家
- 3) 上記の取材を通じて「挑戦のフィールドとしての地方」という、これまでの地方の印象とは違う明るい兆し